

厚生労働省版 ストレスチェック実施プログラムバージョンアップマニュアル (Ver2.2からVer.3.0)

目次

1. システム概要 2
2. バージョンアップ実施手順 3
3. 「WindowsによってPCが保護されました」というダイアログが表示される場合 8
4. 初回実行時にインストーラが実行される場合 9

1. 概要

本マニュアルでは、ストレスチェックプログラム(ver2.2)利用者向けに、実施者用管理ツール、受検者用回答アプリのver3.0へのバージョンアップ方法について記載しています。

本マニュアルではファイル名に拡張子を付けて記載しています。使用する環境によっては拡張子が表示されていないことがあります。実施する際は拡張子を表示して行ってください。

2. バージョンアップ実施手順

ストレスチェック実施プログラムのバージョンアップ手順の概要は以下のとおりです。

(1). 実施中の回答データ保存

アプリケーションのバージョンアップを行う前に、ver2.2の実施者用管理ツールから、直近の実施回の回答結果を移行可能な状態にします。

ストレスチェック実施前に設定します。

- システム設定**：回答用アプリのサーバー上のディレクトリやストレス結果の出力先など設定を行います。設置時にご登録ください。
- 職場登録**：職場名の登録を行います。こちらで登録された職場名を受検者が選択できるようになります。設置時にご登録ください。
- 実施管理**：ストレスチェックの実施回と実施期間の登録・管理を行います。

ストレスチェック実施中または実施後に行います。

- ストレスチェックデータ登録**：ストレスチェックのデータ登録・変更・削除を行います。
- 対象者一覧登録**：ストレスチェックの対象者の登録を行います。
- 受検者・未受検者一覧**：ストレスチェックの受検者と未受検者の一覧を表示します。
- ストレス分析(個人)**：個人の分析とフィードバックを行います。
- ストレス分析(職場)**：職場の分析とフィードバックを行います。
- 高ストレス者判定**：高ストレス者の判定とフィードバックを行います。高ストレス者の判定基準の編集を行います。
- 報告用データ**：労基署へ報告する情報を表示します。

実施者用管理ツールを起動し、メニューから「ストレスチェックデータ登録」を選択します。

厚生労働省版ストレスチェック実施プログラム Ver. 2.0

ストレスチェックデータ登録

実施回選択： 第2回 - 簡易版

受検者が実施したストレスチェックのデータが取り込まれ自動表示されます。
また、管理者が入力を行いたい場合には、こちらの画面からデータ取込みを行うか直接入力を行ってください。
氏名、フリガナ、生年月日、職場コード、職場名、回答は必須項目です。
意図しないデータの損失に備え、「外部データ出力」ボタンによる、定期的なストレスチェックデータのバックアップをお願いいたします。

外部データ取込(Excel,CSV) 外部データ出力(Excel,CSV) 行削除

ID番号	氏名	フリガナ	生年月日(西暦)	性別	社員ID	職場コード	職場名
**							

MENUに戻る 保存

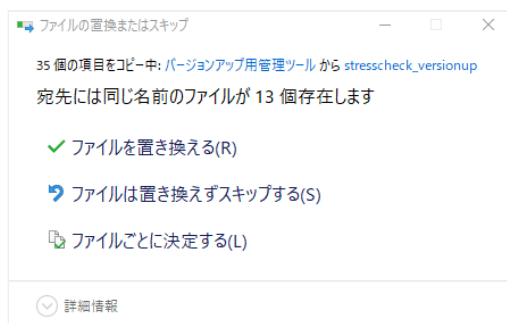
直近の実施回を選択し、回答済みのデータが表示されている状態で「保存」を押します。

(2). バージョンアップ用ストレスチェック実施プログラムのダウンロード

バージョンアップ用のプログラムをダウンロードしZIPファイルを解凍します。「厚生労働省版ストレスチェック実施プログラム」というフォルダを開き、中にあるフォルダ全てを選択、コピーします。

名前	更新日時	種類	サイズ
実施者用管理ツール	2018/12/24 12:42	ファイル フォルダ	
受検者回答用アプリ	2018/12/24 12:42	ファイル フォルダ	

旧バージョンの「実施者用管理ツール」フォルダを新バージョンのフォルダで上書き更新します。



コピー先フォルダに同じ名前のファイルが存在するというダイアログが表示された場合は、「ファイルを置き換える」を選択して下さい。

(3). 受検者回答用アプリの設置

本バージョンの受検者回答用アプリは(2)で貼り付けたフォルダ「受検者回答用アプリ」の中にある「受検者回答用アプリ.exe」になります。可能であれば受検者が誤ってアプリを削除することを防止するため、「受検者回答用アプリ.exe」のショートカットを作成し、受検者に対し公開するための場所にそのショートカットのみを移動し公開してください。

旧バージョン（ver2.2）では、実施者用管理ツールと受検者用回答アプリを異なるフォルダ構成でも可能でしたが、ver3.0以降では同じフォルダ内に構成するようにしてください。旧バージョンをバージョンアップ版で上書きすると、以前までのデータは自動で受け継がれますが、念のため実施者用管理ツールフォルダを別の場所にバックアップ保存されることをおすすめします。旧バージョンの受検者用アプリがPC内に存在すると不具合が起きる可能性がありますので、そのアプリが入っているフォルダを全て削除して下さい。

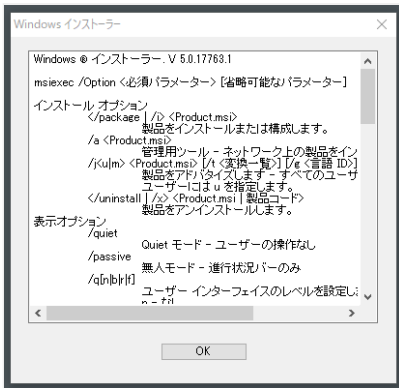
(4). データフォルダへのアクセス制限

受検者の回答情報を含むデータは「実施者用管理ツール」の中の「MainProgram」以下に保存されます。個人情報漏えい防止のため、「MainProgram」に対して、実施者のみアクセス可能な権限設定を行ってください。詳しい設定方法は、各事業場のサーバー管理者へお問い合わせください。

(5). 実施者用管理ツールの起動

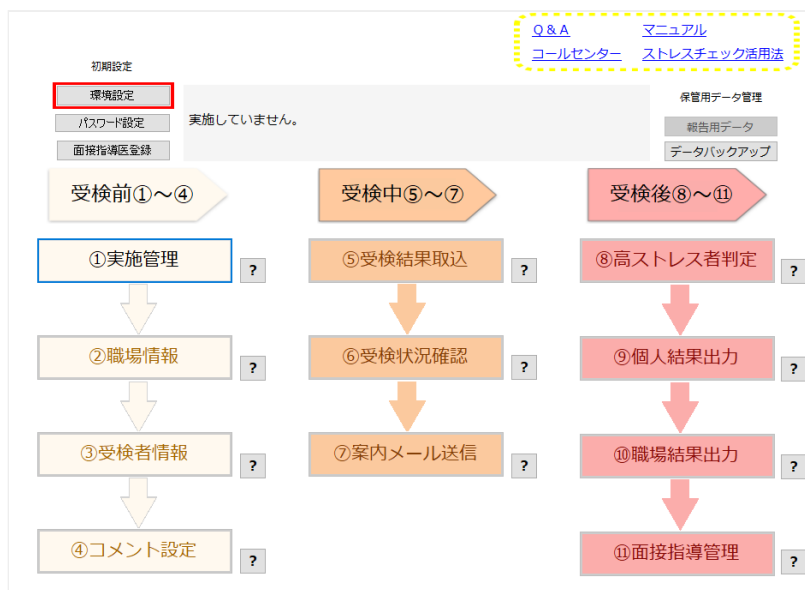
実施者用管理ツールからシステムの初期設定を行います。フォルダ「実施者用管理ツール」の中の「実施者用管理ツール.exe」を起動してください。初回起動時に「WindowsによってPCが保護されました」というメッセージが出る場合は、本マニュアル "3. 「WindowsによってPCが保護されました」というダイアログが表示される場合" の手順を実行してください。（2回目以降の実行時には表示されません。）

必須コンポーネント（必須のソフトウェア）がインストールされていない環境ではセットアップが起動します。以下のようなウィンドウが出る場合は、本マニュアル "4. 初回実行時にインストーラが実行される場合" の手順に従って必要プログラムのインストールを実施してください。



(6). 実施者用管理ツール初期設定

実施者用管理ツールが起動したら、旧バージョンで設定したパスワードでログインします。



画面左上の「環境設定」を開きます。

受検者回答用アプリの利用形式と、受検者情報の必須項目を設定し保存して下さい。この2つの項目は保存後に変更することはできません。

<受検者情報の必須項目について>

「氏名」「フリガナ」「生年月日」「性別」「職場名」「社員ID」はシステム上必須です。「メールアドレス」「電話番号」「内線番号」は設定により必須とすることができます。本バージョン（ver3.0）から「社員ID」が必須項目となりました。＊2019年1月頃、プログラムのバージョンアップ（ver3.1）を行った場合、こちらに前回使用した社員IDを入力すると、2年分の個人結果を表示できますので紐付けは正しく行ってください。詳しくは2019年1月末以降に公開されるマニュアルをご参照ください。

設定が保存できたら「MENUに戻る」でメニューに戻ります。

(7). (新しく実施回を作成する場合)

本バージョンのアプリで新しい実施回を作成する場合は、メニューの「①実施管理」から新しい実施回を登録し、続けて職場情報と受検者情報を登録して下さい。(本バージョンより毎実施回ごとに職場情報を登録していただく必要があります)

(8). (進行中の実施を引き継ぐ場合)

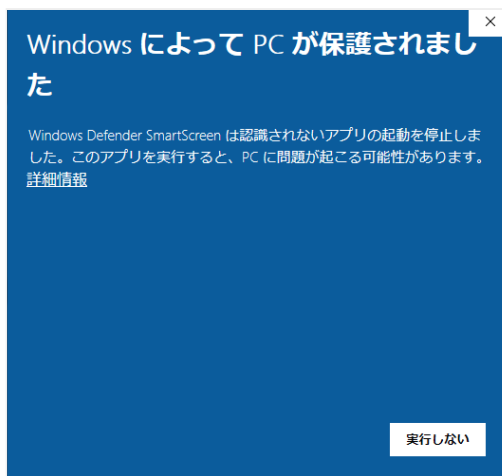
旧バージョンで実行中・実行済みだった実施回のデータは、そのまま本バージョンのアプリケーションに引き継がれていますのでそのまま継続して利用いただけます。

(9). 受検者アプリ初回起動時の留意点

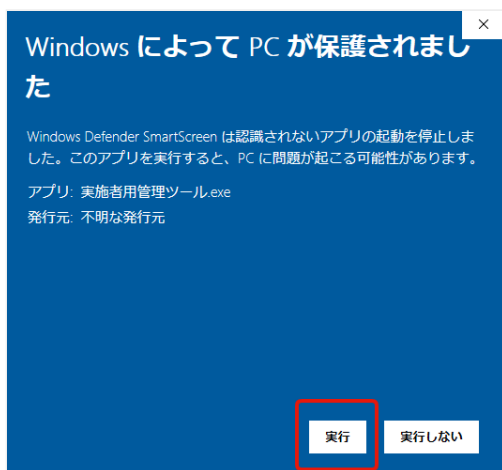
バージョンアップ後、受検者のPCで「受検者用回答アプリ」を起動した際、(5)と同様のダイアログが表示される場合があります。(5)と同じ手順を進めていただけるよう、利用者へ案内して下さい。

3. 「WindowsによってPCが保護されました」というダイアログが表示される場合

アプリケーション（実施者用管理ツール、受検者用回答ツール）を初めて起動する場合、以下のような警告ダイアログが出て実行できない場合があります。



この画面が出た場合は、メッセージの下にある「詳細情報」をクリックして下さい。



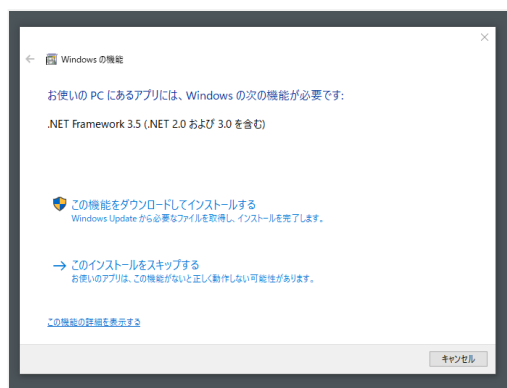
詳細情報をクリックすると、下に「実行」のボタンが出ますので「実行」を押すことで次の処理へ進めます。同じアプリケーションの起動時に複数回表示される場合は同じ手順で先に進んで下さい。

4. 初回実行時にインストーラが実行される場合

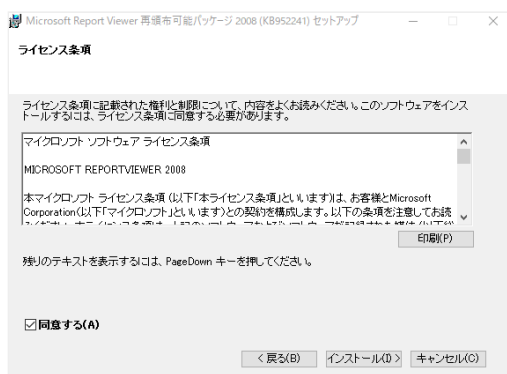
アプリケーション（実施者用管理ツール、受検者用回答ツール）を初めて起動する場合、以下のような警告ダイアログが表示される場合があります。（exeファイルの名前は下と異なる場合があります。）



この画面はアプリケーション実行に必要なプログラムのインストールの許可を求めるものです。「はい」を選択して先に進んで下さい。



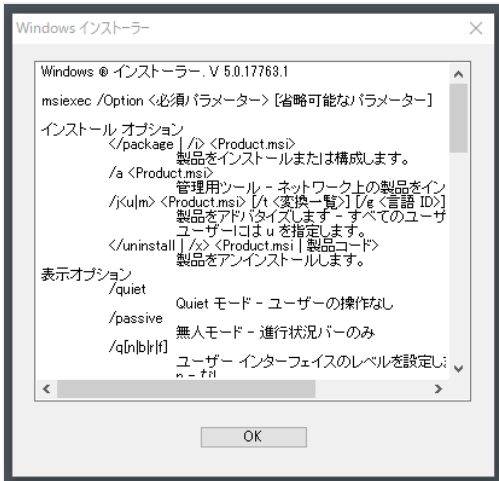
「この機能をダウンロードしてインストールする」を選択します。



このようなダイアログが表示された場合は「インストール」をクリックし先へ進んで下さい。しばらくするとインストーラが起動するので完了するまで待つて下さい。（インストールには数分を要する場合があります）



完了後、PCを再起動を促すメッセージが表示されますので再起動を行ってください。



インストーラが起動すると、このような画面が表示される場合があります。「OK」で先に進んで下さい。
(何度か続けて表示される場合もあります)

全ての必要ファイルのインストールが終わると、アプリが起動します。